学校番号	111

平成 31 年度　芸術（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2	年次	2
使用教科書	「書道Ⅱ」　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私語することなく、集中して作品制作すること。
・最後まで丁寧に作業し、作品を仕上げること。
・用具・用材の大切さを理解し、あとかたづけを丁寧に行う。

2　学習の到達目標

・書道の幅広い活動を通じて、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
・書に親しむ活動を通じて、感性を高め。書写能力の向上を図り,自己を主体的に表現するための書道の基礎的能力を伸ばしていく

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動に喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や干渉の創造的活動に取り組もうとする	用具・用材の扱いを理解し、書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の効果的な表現の技能、技術を身につけ、意図に応じて、創造的な書表現を行う。	文字や書の伝統と文化について、幅広く理解し。その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わう。
評価方法	ワークシート 作品発表会	ワークシート 作品	作品	ワークシート 作品発表会

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書　楷書	漢字の書 ・漢字の成立と変遷 ・古典に基づく学習	 ○ ○	 ○	 ○		a:日本、中国の文字と書の伝統文化について感心を持ち、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。 b:漢字の書体の変遷に関心を持ち、意図的、主体的に理解しようとしている。 c:古典の持つ伝統的な美を感受し、臨書の意味や表現方法を理解し、表現を構想し工夫している。	ワークシート
	漢字の書　楷書　行書	・楷書の用筆法・結構法 ・初唐の成立と四大家 ・臨書・鑑賞 ・創作	○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	a:楷書・行書の基本的な点画と用筆・運筆についてその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 b:創造的な表現をするため、楷書の点画の構成や、唐の四大家の書風の特徴を理解している。 c:古典の臨書・鑑賞を通じて楷書の美と技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 d:古典の持つ伝統的な美を感受し、意図的、主体的に書の表現を味わおうとしている。	ワークシート 作品 作品発表会
2学期	漢字の書　篆書・隷書	・行書の用筆法・結構法 ・臨書・鑑賞 ・創作	○ 	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	a:篆書・隷書の美とその用筆・運筆について、その技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 b:創造的な表現をするため、行書の点画の構成や、先人の書風の特徴を理解している。 c:古典の臨書・鑑賞を通じて楷書の美と技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 d:古典の持つ伝統的な美を感受し、意図的、主体的に書の表現を味わおうとしている。	ワークシート 作品 作品発表会

3学期	かなの書	・かなの成立 ・かなの用具・用筆 ・ひらかなの単体 ・連綿 ・臨書・鑑賞	○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:かなの美とその技法を学び、かなの書の成立に関心を持ち、意図的、主体的に理解しようとしている。 b:用具・用筆によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫する。 c:運筆の流動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の等質を理解し、その技法を実に付ける。 d:筆者の感興や意図と、単体・連綿や線質との関わりに関心を持ち、意欲的・主体的に仮名の美を理解しようとしている。	ワークシート 作品 作品発表会

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。